

学園評価アンケート2021～結果報告書～

鷹南学園 保護者の皆さま

学園評価アンケート2021にご協力いただき、ありがとうございました。
皆さまからのご意見・ご要望は次年度の学園・学校づくりに活かしてまいります。

Q&A 内藤和巳学園長に聞く

皆さまからいただいた自由記述では「鷹南スタンダード」「いじめ」「タブレット」「先生方の対応」に関する意見や要望が多く寄せられました。この4つの課題について鷹南学園 内藤和巳学園長にお聞きしました。

【鷹南スタンダード】 ※鷹南スタンダードの内容は右ページのQRコードよりご覧いただけます。

Q 「鷹南スタンダードの存在を知らない」「何のためにあるの？」などの記述が多く見られました。改めてなぜ鷹南スタンダードという考えがあるのか、教えてください。 設問(5-3)より

A 発想の根本は、みんなで子ども本位の教育を進めよう、ということです。三鷹市はその理念のもと、小・中一貫教育に取り組んでいます。小・中一貫した指導観に立って徹底すべき生活習慣や学習習慣を身につけようということです。まず「三鷹学びのスタンダード」が作られ、それをもとに学園の実態に合わせて「鷹南スタンダード」を作り、進化させてきました。当然家庭や地域の協力・連携が重要になります。「個別最適な学び」を進める一方で、学習や生活の基盤としてのスタンダードの役割も重要だと考えています。今後もその重要性を発信し、小・中・家庭・地域と連携した指導を進めていきたいと考えています。

【いじめ】

Q いじめに対する学校の対応についての集計結果をどう受け止めますか。また、防止策について聞かせてください。 設問(4-5)より

A 肯定的な割合は65%程度、否定的な割合は15%程度でした。では15%の子どもが現在いじめられているかということというわけではありません。いじめがあったとき、実際どのような指導が行われているかは、関係した子ども・保護者でないとわからないのが実情でしょう。65%を100%に近づけるため、「適切な指導」とは何か、「どこまで学校でできるのか」について、大人が大いに議論し連携していく必要を感じます。まずは15%の方の声を聴くとともに、今苦しんでいる子どもたちを支えることを最優先に取り組んでいきます。

【タブレット】

Q 各学校の保護者ともに「家庭では使用時間を管理することが困難である」の記述が多くありました。タブレットに関する課題解決に向けての考えを聞かせてください。 設問(4-3)より

A 三鷹市ではデジタル社会の到来にあたり、タブレットを文房具の一部として使用できる環境を整えて家庭への持ち帰りを実現しています。ほかの自治体よりかなり恵まれた環境であると考えます。最終的にはすべて子ども任せにしても、全く問題が起きないデジタル機器の使用者を育てなくてはなりません。そのために市を挙げて「デジタルシチズンシップ教育」に取り組んでいきます。しかし、当面は使用時間制限を設けるべきだと考えています。無制限の使用は脳の発達に悪影響があると言われているからです。家庭と連携してその必要性を子どもにわからせ、守らせていきたいと考えています。

【先生方の対応】

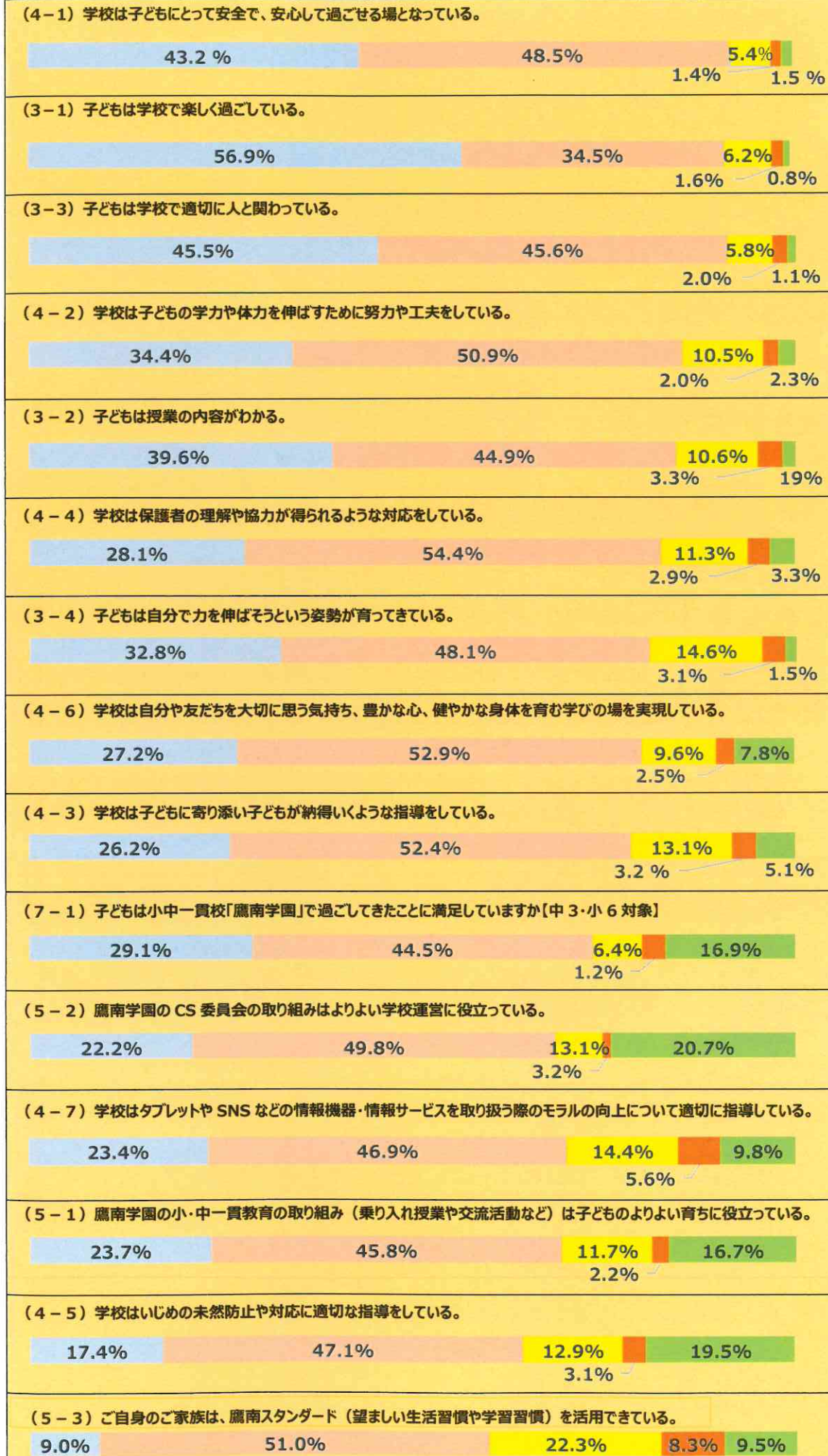
Q 「先生の言葉遣いが荒い」「人格を否定するような発言」「態度に不安を感じる」などの記述があり、気になります。改善に向けた取り組みを聞かせてください。 設問(4-7)より

A 該当学年にアンケートをフィードバックし事実を確認した上で指導しています。不適切な言動については正す以外にありません。そういうことがあれば、即時厳正に対処し研修を重ねます。その一方でゆとりをもって指導し、子どもや保護者との信頼関係を築きながら教師としての自覚と誇りを高めていくことができるよう教職員の協働、保護者・地域との協働を進めていきたいと思っております。

内藤学園長 ありがとうございました。

2021年 学園評価アンケート結果 ～グラフは上から下へ肯定的回答の多い順に並べました～

<グラフ凡例> ■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない



WEB アンケート実施

回答率

⇒ 71%



学園生徒児童数：1549人
回答数：1099人

鷹南スタンダード



鷹南学園 HP より

【評価部一同より】

皆さまからいただいた貴重なご意見の数々はCS委員会内で拝読いたしました。

また、各学校においても、全教員内へ回覧し全ての意見に目を通していただきました。

コロナ禍で直接的なコミュニケーションが途絶え、誤解を生じたり理解が進まなかったために書かれたような記載も多く見られました。

これら保護者の不安が子どもたちに影響することは間違いないので、そのような視点(保護者支援)で、今後のCS活動や学園、学校の経営の一つでも多くの意見を反映させ協議してまいります。

家庭・学校・地域が一体となり笑顔があふれる学園づくりに取り組んでいきたいと思います。

家庭・学校・地域が一体となり笑顔があふれる学園づくりに取り組んでいきたいと思います。

家庭・学校・地域が一体となり笑顔があふれる学園づくりに取り組んでいきたいと思います。